



東アジア諸国の決済システムについて

研究員 亀井 純野

決済システムの整備状況は東アジア各国において大きく異なっている。シンガポールや香港については、金融取引電子化の進展と平行して相当整備が進んでおり、香港では域内でのリンケージや決済ハブ構築に向けた具体的動きも見られる。他方では、まだ整備途上にある国も多い。

国際通貨研究所では、財務省の委嘱を受けて「東アジア諸国の決済システム」について調査を行った。その過程で感じたことは、程度の差はあるにしても、どの国もインフラ整備を積極的に推進してきていることと、その整備状況を域内に紹介するとともに、域内決済システムについて互いの状況をよりよく把握しようという各国の姿勢である。お互いのことをよく理解したいという要望に加えて、良い意味で **peer pressure** が働きお互いにインフラ整備面で競争しようという意識が芽生えてきているのであろう。報告書のアップデート作業の中では、できるだけ自国の決済システムを良く見せようという意欲すら感じられたことも一度や二度ではなかった。

決済システムの関係では EMEAP(東アジア・オセアニア中央銀行役員会議)(注 1)が発足以来継続的に調査を進めてきており、1998年に続いて2002年7月には"Payment Systems in EMEAP Economies"(<http://www.emeap.org/redbook2/redbook.pdf>)という包括的な報告書をまとめている。

EMEAPの報告書は通常 Red Book と言われるが、われわれが財務省の委嘱調査で作成した報告書との違いは何だろうか。これはわれわれの報告書はあくまでも民間参加者の目線でそれぞれの決済システムの整備状況や将来の姿について評価を行おうと努めたところにあると考えている。国債の DvP が Treasury と中銀の間で宙に浮いているフィリピンや、社債と国債の決済一元化について意見が対立しているタイなど、決済システムのユーザである一般の市場参加者の視点で評価を行おうと努めた。しかし、「自国の決済システムを良く見せようという意欲」が具体化して何度も表現の修正を求められた箇所もある。

尚、報告書は以下のホームページに掲載されている。

最新版(英語のみ) :

http://asianbondsonline.adb.org/documents/abmi_wg_fets_settlement_systems.pdf

(日本語版) : http://www.mof.go.jp/jouhou/kokkin/frame_4.html

(注 1) Executives' Meeting of East Asia-Pacific Central Banks の略称であり、オーストラリア、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、タイの 11 か国・地域の中央銀行・金融当局で構成される協力組織を指す。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2004 Institute for International Monetary Affairs (財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-Chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>